

本住寺便り（平成二十六年お盆号）

平成二十六年八月発行

『我等が心の内に父をあなづり、母を

をろかにする人は、地獄其人の心の内に候』

（高祖日蓮大聖人 重須殿女房御返事より）

今年も八月のお盆、そして一か月後には秋のお彼岸を迎え、お墓参りやお仏壇に手を合わせて、皆様方もご先祖様や有縁無縁の諸精霊にご供養されることと思います。

しかし人はなぜ、お墓やお仏壇の前で手を合わすことができるのに、自分の目の前にいる、生きている人に対して手を合わせる事ができないのでしょうか。日蓮聖人は次のようにお示しです。

「私たちが心の中で父を侮ったり、母を疎かにするのは、その人の心中にある地獄が作用しているからだ」人は両親から精子と卵子それぞれ一組ずつの遺伝子をもらいこの世に生を受けます。その中には万巻の書物に匹敵するくらいの遺伝情報が書き込まれているそうです。

これは全くもって神業としか言いようがなく、現代人は、とかく神仏の存在を信じていませんが、信じる信じないは別にして、人間の体は人の考えや想像を超えた「偉大な存在」によって書かれた遺伝子が働き、創られた細胞が約六十兆個も集まってできているのです。

この地球上において私たちは唯一の存在であり、人間として生まれたことしかり、あなたがあなたとして両親の元に生まれたこと自体奇跡に近く、父母のそのまた父母と、ご先祖様から続くこの尊い命に感謝し、生きているもの同士お互いに尊重し合いましょ。

お盆やお彼岸にあたり、ご先祖様から代々続く、今ここに自分が存在している、命の有り難さや繋がりをしみじみと感じるなら、それだけでもご先祖様への「恩返し」の一端となることでしょう。

◆ 秋のお彼岸 ◆ 九月二十三日（火・祝） 午後2時より

お彼岸とは、六波羅蜜【布施・持戒・忍辱・精進・禪定・智慧】修行の実践週間のことです。春分・秋分の日をはさんで前後各三日の七日間は、日常生活の中で自らを振り返る修行をし、ご先祖様のご供養をする大切な期間となります。

本住寺では、本堂にて総ての檀家さんの先祖供養の為のお経をおがんでおります。お経の途中でもご自由にお入りいただいて構いませんので、お寺参りを兼ねて、是非お気軽にお参りくださいませ。なお、卒塔婆供養を希望される方は、別紙申込書をご覧の上お申し込みください。

◆ 本住寺 信行会 ◆ 命に合掌

本住寺では、日常生活の中で楽しく手を合わせる事が出来るよう、月に一度、お題目を唱えることを中心にお経や作法を楽しく実践する『信行唱題会』と、本堂で心静かに観音経のお写経をする『観音経写経会』を開催しております。御宝前の仏様に手を合わせて、お経やお題目を通して神仏やご先祖様の存在を身近に感じ、楽しい毎日を通い過ごすきっかけとしてみてはいかがでしょう？

初心者歓迎！ どなた様でも簡単にご参加いただけます。必要な道具等はお寺に揃っておりますので、興味がある方は是非お気軽にお越しください。

信行唱題会 毎月第2火曜日 午後2時より
観音経写経会 毎月第3土曜日 午前10時～午後7時の間、いつでも。

妙見山本住寺

倉敷市真備町服部一五八七

☎ 〇八六（六九八）九七セ〇

🌐 <http://www.honjuzi.com/>

*仏事に関する事等でお悩みやお困り事等がございましたら、お気軽にご相談ください。
*法事のご予約はお早目にお願いたします。お寺の都合により、ご希望される日時でもお受けできない場合がございますので、ご了承ください。